

## 第 2 回 会 議 発 言 要 旨

<p>1 社会経済情勢について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が何年か後には30万人を切ると言われており，進学等による若者の流出で衰退している印象である。</li> <li>・実感として旭川の経済状況は良くないが，日銀の統計では横ばいでこんなものかなという印象。</li> <li>・GDPはあまり伸びておらず，生活レベルは上がっていない。</li> <li>・景気は回復基調にあるが，中央と地方の格差が広がっており，豊かになっているとは感じられない。</li> <li>・企業は人手不足に悩んでおり，中小企業が賃上げしているが，旭川の地場企業にはその動きがまだ及んでいない。</li> <li>・構造的に若者がいなくなっている。</li> <li>・最低賃金ぎりぎりの非正規労働者に頼っている部分がある。</li> <li>・人手不足で外国人労働者に頼らなければならない状況がある。</li> </ul>
<p>2 市役所を取り巻く環境の変化について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公務労働者と非正規労働者の格差が拡大しており，公務員が制約を受けるのは仕方がない面がある。</li> <li>・公務員は将来的に生活が守られ，安定しているという印象がある。</li> <li>・公務員や議員が仕事に没頭できるくらいの給料が保障されていなければならないと感じる反面，議員の活動は分かりづらく，活動内容について説明すべき。</li> <li>・議員報酬について建設的な議論をしないと街は良くなるらない。</li> </ul>
<p>3 職員給与との関わりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公務員の給料は，人事院勧告に基づいて決められているが，類似都市との比較は重要。</li> <li>・審議事項ではないが，他都市も減額措置を止めており，同じように止めてもよいのではないか。</li> <li>・これまでも一般職の給料とリンクさせており，整合性が必要。</li> </ul>
<p>4 旭川市の財政状況について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の財政が悪いのに報酬を上げるという議論にはならないのではないか。</li> </ul>